

切らずに治す  
がん治療の新たな波  
第3世代ホウ素中性子  
補足療法 (BNCT)  
実現への挑戦

# 岡山大学 中性子医療研究センター Neutron Therapy Research Center 開設

ホウ素中性子補足療法(BNCT)は、ホウ素原子 $^{10}\text{B}$ をがん細胞に導入した後に中性子線を照射してがん細胞内部で核分裂を起こし、正常細胞にはほとんど影響を与えずにがん組織を細胞単位で殺す治療法です。岡山大学NTRCは、多くの種類があるがん細胞へ確実にホウ素を届けることのできる薬剤を開発しています。名古屋大学では新たな仕組みで適切な中性子線を作り出す装置の開発を進めています。両者は放射線治療の指針を定める国際原子力機関(IAEA)と連携してBNCTのガイドライン作りに参加し、日本の意見を世界に発信します。また、県北・鏡野町と協力して基礎研究所・病院建設を目指しています。

## 中性子医療研究センター設立までの沿革

岡山大学は、2012年以降、放射性廃棄物に関し国際原子力機関(IAEA)との連携交流を深めていましたが、2016年山本研究担当理事(当時)、市川特任教授、松井教授らがIAEAを訪問したことを契機に、以降BNCTに関する情報交換と共有を深め、同年10月にIAEAと岡山大学との間でBNCTについての協定調印に至りました。更に、文部科学省の支援の下、予算措置を頂き、今回の中性子医療研究センター発足につながっています。前年の2015年には、岡山県鏡野町と日本原子力研究開発機構(JAEA)の三者連携協定が締結されていたことから、BNCT事業においても、鏡野町から多大な支援を受けることとなり、2017年に、同センター内に寄付研究部門(5年間資金支援)が設立されるまでになっています。

関係各位

岡山大学中性子医療研究センター長 神崎 浩

中性子医療研究センター開所セレモニーのご案内

拝啓 陽春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本年4月の中性子医療研究センター設置にあたっては、格別の御厚情と御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本センターは、岡山大学を舞台に最高の「知」と「技」を結集し、ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）に技術革新を起こして、中性子医療という新規分野を創出し、がん治療に新たな世界標準治療を切り開くことを目的に設置され、運営を開始しました。センター教職員一同、早期のブレイクスルーを目指して研究活動に邁進する所存でございます。

つきましては、下記のとおり開所セレモニーを催すこととしましたので、御多用のところ恐縮に存じますが、万障お繰り合わせのうえ何卒ご臨席を賜りますようご案内申し上げます。なお、準備の都合上、予定しております看板上掲式及び祝賀会について、4月20日（木）までに、返信メールにて御出欠をお知らせさせていただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

## 【看板上掲式】

日時： 平成29年5月9日（火）16時～

場所： 鹿田キャンパス

自然生命科学研究支援センター光・放射線情報解析部門鹿田施設玄関前

式次第： 学長挨拶 センター長挨拶 看板上掲

## 【中性子医療研究センター概要説明会】※自由参加

日時： 平成29年5月9日（火）16時30分～

場所： 鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall

## 【祝賀会】

日時： 平成29年5月9日（火）17時40分～

場所： 鹿田キャンパス 記念会館1階カフェテリアバンビ

※会費制（3,000円）とし、当日受付にて徴収させていただきます。

## 鹿田キャンパス

